

石油燃焼機器に関する重大事故調査（2007年1～5月13日判明分）

No.	メーカー名	事故発生日	品目	型式機種	被害区分 (注)	事故概要	製品の 使用期間	事故原因			備考	事故発生 場所	
								内容	該当するものに○を入力して下さい				
									製品起因	誤使用			原因不明または調査中
1	(株)長府製作所	2007/4/24	石油ふろがま	BM-7	④	浴室(0.75坪)焼損 脱衣室一部と外壁等焼損	不明 (24年以上)	消防署見解では、 風呂水の確認をせずに風呂釜に 点火し、空焚きとなり出火した もの。		○		消防署からの 情報協力要請 のみで、製品 の確認はでき ず。 型式はバー ナーのもの。	長野県
2	(株)ノーリツ	2007/4/17	小型給湯機	OQB-302Y	④	給湯使用中にお湯が出なくなり、 屋内の電気ブレーカが作動した。 屋内に行くと給湯器から煙が出て いた。	9年7ヶ月	当該機種に使用している部品名 「制御弁セット」付属のSサイ ズ(NBR製)が硬化・収縮し 灯油漏れをおこし、漏れた灯油 が燃焼室内に流出し、それに引 火して機器内に炎が発生した。 このOリングの硬化・収縮は灯 油の滞留と真鍮の触媒作用で灯 油が劣化し、更に高温の条件が 重なった特殊な条件で発生。	○			リコール製品	茨城県
3	(株)長府製作所	2007/4/13	石油ふろがま	JPM	④	風呂場と隣接する部屋の天井約 20m ² 焼損	不明 (20年以上前)	空焚き防止装置のついていない ふろがまの空焚きによるもの。		○			埼玉県
4	松下電器産業(株)	2007/4/10	石油ファンヒーター	OH-T30S	④	火災現場に当社製石油ファンヒーターが あった。 気道熱傷で入院1名。	約5年	原因は、消防と警察で調査中。			○		愛知県
5	(株)コロナ	2007/4/6	石油ストーブ	SX-2240	①④	木造2階建て住宅約140m ² を全 焼し、1階の焼け跡から家人一人 が遺体で見つかった。	約16年	家人の妻がカートリッジタンク に灯油を入れ、タンクのフタを 上向きに運んできて、ストーブ にセットしようとした時に灯油 がこぼれてストーブが燃え上 がったと供述しているが、詳細 は定かでない。			○		石川県
6	松下電器産業(株)	2007/4/5	石油ストーブ	OS-C26D	④	全焼現場に当社製石油ストーブが あった。	約9年	製品技術基盤機構北陸支所から の問い合わせ。 原因は、消防で調査中。			○		富山県
7	(株)コロナ	2007/3/27	石油ファンヒーター	FH-S323DX	④	点火後、吹き出し口から白い煙と 炎が出た。部屋のカーテン、壁に 燃え移り、消防により消火。	20年以上	北九州消防局にて立ち会い調査 し、原因調査中			○		福岡県
8	(株)ニッセイ	2007/3/25	石油ストーブ(開放 式、芯式、放射型)	NC-S233	調査 中	点火後20分～25分頃突然炎が 上がった	不明 生産平成 4年	パジャマ上下と髪の毛が焼けた			○	5月8日nite にて再現テス ト実施予定	埼玉県

注1：事故発生日の月日が不明のケースは「-」と表示

注2：被害区分番号…①死亡事故、②重傷病事故（治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病）又は後遺障害事故、③一酸化炭素中毒事故（医師の診断が下されたもの）、④火災（消防が火災として確認したもの）

No.	メーカー名	事故発生日	品目	型式機種	被害区分 (注)	事故概要	製品の 使用期間	事故原因			備考	事故発生 場所	
								内容	該当するものに○を入力して下さい				
									製品起因	誤使用			原因不明または調査中
9	株長府製作所	2007/3/19	石油ふろがま	JPK-N	④	機器、トイレなど約20m ² 焼損 消火時に少し火傷	10年以上	消防署にて立会い検証したところによると、10年前廃品を見つけてきて自分で取り付けし、以前より1回で着火せず2~3回リセットして使用していた。浴槽栓が完全に閉まっていなかったための空焚きと推定。		○			岩手県
10	株ノーリツ	2007/3/15	ふろがま付石油給湯機	OTQ-302Y	④	器具内部焼損	7年0ヶ月	○リング劣化により油漏れ、引火	○			リコール製品	長野県
11	株コロナ	2007/3/14	ふろがま付石油給湯機	UKB-G4010AHTR	-	排気吹き出し口より火の粉が出、近所の人が消火器で消火。	5年5ヶ月	ファンモーターの故障で、燃焼異常となり、熱交換機内に煤が付着し、黒煙と火の粉が発生したと思われる。内部の焼損や拡大被害はなし。	○				新潟県
12	株ノーリツ	2007/3/14	ふろがま付石油給湯機	ORM-240Y	④	器具内部焼損	20年				調査中		茨城県
13	株コロナ	2007/3/4	石油ストーブ	RX-221	①④	木造2階建て住宅から出火し、同住宅約200m ² と隣接する住宅権作業所約270m ² を全焼し、家人一人が死亡した。 死亡した家人がストーブを使用していたと見られるが、すでに亡くなっている為、石油ストーブの使用状況や出火時の詳細については確認できない。	不明 (3年未満)	不明			○	現品廃棄され調査できず	石川県
14	株ノーリツ	2007/2/25	ふろがま付石油給湯機	OTQ-302Y	④	器具内部焼損	9年6ヶ月	○リング劣化により油漏れ、引火	○			リコール製品	長野県
15	株ノーリツ	2007/2/22	石油給湯機	OQB-403Y	④	器具内部焼損	6年7ヶ月	○リング劣化により油漏れ、引火	○			リコール製品	神奈川県
16	株長府製作所	2007/2/20	石油ふろがま	H2S	④	機器焼損 ホーローバスの一部変色	12年	空焚き（焼却兼用風呂釜）		○			京都府

注1：事故発生日の月日が不明のケースは「-」と表示

注2：被害区分番号…①死亡事故、②重傷病事故（治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病）又は後遺障害事故、③一酸化炭素中毒事故（医師の診断が下されたもの）、④火災（消防が火災として確認したもの）

No.	メーカー名	事故発生日	品目	型式機種	被害区分 (注)	事故概要	製品の 使用期間	事故原因			備考	事故発生 場所	
								内容	該当するものに○を入力して下さい				
									製品起因	誤使用			原因不明または調査中
17	三菱電機(株)	2007/2/19	石油エアコン	MSHB-2201R4	④	室外機焼損	約24年	室外機のみ焼損。 石油燃焼器部の異常は無し。焼損範囲は中央部に集中、その範囲内での電気品及び電気配線には異常が確認できないことその他の発火原因となり得る各電気部品にも異常が確認できないことより、出火源はエアコンでないものと推定。 上記内容を消防に説明、了承された。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		栃木県
18	(株)トヨトミ	2007/2/19	石油ストーブ	RCA-883	④	平成19年2月19日午後5時石油ストーブに点火し、6時20分頃火力を小さくして夕食をするため外出、7時頃もどってみると石油ストーブと近くにあったソファ、カーテンが燃えていたので水をかけて消火する。	不明	灯油タンク内及び、製品内に使用した燃料が残っており、調査した東宇陀消防署ではその臭いと色からガソリンが混入している可能性が高いと見ており、灯油と間違えてガソリンを灯油タンクに給油してしまったためとみている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		奈良県
19	(株)長府製作所	2007/2/17	石油ふろがま	SB-7C	④	機器焼損 床面が燃えた 壁面と隣のボイラ外装に煤付着	約27年	正規ではない灯油専用バーナーを焼却兼用風呂釜の焚き口（開口部が広い）に差し込んで使用していたため、接続部から炎が溢れたものと推定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	*製品の使用期間は製造日より推定	奈良県
20	TOTO(株)	2007/2/15	石油給湯機	RPH40KE	④	器具及び器具周辺部を焼損	約10年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	リコール製品	北海道
21	TOTO(株)	2007/2/13	石油給湯機	RPH32KF	④	器具及び器具周辺部を焼損	約10年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	リコール製品	北海道
22	TOTO(株)	2007/2/13	石油給湯機	RPH40KSS	④	器具焼損	約9年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	リコール製品	茨城県
23	(株)長府製作所	2007/2/13	石油ふろがま	JPM	④	家屋全焼 人的被害無し	27年	約2週間前から着火音がしない、かつ油臭いのを承知ながら使用。当日朝スイッチを入れた後、気付いたら（10分くらいか）釜から火が出ていた。排煙目的で窓を開けた所、一気に燃え上がった。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		福島県
24	(株)長府製作所	2007/2/11	油だき温水ボイラ	HG-4000S	④	機器は全く焼損なし 屋根が1/3程度焼損	4ヶ月	軒を煙突が貫通しており、その接触面より出火。 消防は施工が原因としている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	○ (その他)	岡山県

注1：事故発生日の月日が不明のケースは「-」と表示

注2：被害区分番号…①死亡事故、②重傷病事故（治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病）又は後遺障害事故、③一酸化炭素中毒事故（医師の診断が下されたもの）、④火災（消防が火災として確認したもの）

No.	メーカー名	事故発生日	品目	型式機種	被害区分 (注)	事故概要	製品の 使用期間	事故原因			備考	事故発生 場所	
								内容	該当するものに○を入力して下さい				
									製品起因	誤使用			原因不明または調査中
25	三菱電機(株)	2007/2/8	石油ファンヒーター	KD-SX524	④	住宅全焼	約8年	警察より当該製品の火災に関する照会があった。			○		神奈川県
26	ダイニチ工業(株)	2007/2/7 (情報入手日)	石油ファンヒーター	FW-552L	④	火災	不明	(弁護士会からの照会内容より) 機体にハーフケットがかかった状態(もしくは至近距離)で放置したため、火災が発生した		○			北海道
27	(株)トヨトミ	2007/2/7	石油ストーブ	R-33	④	平成19年2月7日午後5時30分頃 大阪市都島区中野町5丁目のJR 大阪環状線桜ノ宮駅の淀川橋梁下 の河川敷から出火、炎が一時線路 付近まで上がり、枕木約40本の 他、河川敷に置いてあった廃車両 4台や古タイヤなどが燃えた。 (インターネット朝日新聞ニュー スより)	不明	現在大阪府都島警察署にて原因 調査中とのこと			○		大阪府
28	(株)コロナ	2007/2/6	石油ストーブ	SX-B35Y	④	石油ストーブにカートリッジタンクをセット しようとしたところ、タンクのふ たが開いて灯油がこぼれ、石油ス トーブとその周辺を焼いた。	約7年	給油時にストーブを消火せず、給 油後のタンクふたの閉まり確認を 行わなかったため、ふたが十分 にロックされておらず、灯油がこ ぼれた。		○			石川県
29	(株)コロナ	2007/2/4	石油ストーブ	NX-22Y	④	住宅から出火し、居間にあった石 油ストーブや近くの蛍光灯などを 焼いた。	約10年	給油時にストーブを消火せず、給 油後のタンクふたの閉まり確認を 行わなかったため、ふたが十分 にロックされておらず、灯油がこ ぼれたと思われる。		○			福井県
30	ダイニチ工業(株)	2007/2/2	石油ファンヒーター	FW-321S	④	約150m2自宅全焼。	約2ヶ月	消防署の要請にて立会いの もと、事故機の検証実施。焼損が 著しくその場では原因特定でき ず。			○		石川県
31	東陶機器(株)	2007/02/02	ふろがま付石油給 湯機	RPE32VSN	④	器具内一部焼損	約13年	調査中			○		長野県
32	(株)トヨトミ	2007/1/31	石油ファンヒーター	LC-U32	④	平成19年1月31日午前6時頃自宅の 居間で点火し、9時20分頃点火し たまま外出、9時30分頃隣家より 家から火が出ているとの連絡を受 ける。消防へは隣家の方が通報。 居間と台所を焼損する	不明	火元と思われるものが石油ファ ンヒーターしかないが火災に至 るまでの経緯に不明な点も多く 現在「日本科学鑑定株式会社」 にて調査中。			○		福岡県
33	ダイニチ工業(株)	2007/1/29 (情報入手日)	石油ファンヒーター	FW-4010S	④	火災	不明	消防署より、灯油を機体の上か らこぼしたらしいとのこと。		○			新潟県

注1: 事故発生日の月日が不明のケースは「-」と表示

注2: 被害区分番号…①死亡事故、②重傷病事故(治療に要する期間が30日以上)の負傷・疾病)又は後遺障害事故、③一酸化炭素中毒事故(医師の診断が下されたもの)、④火災(消防が火災として確認したもの)

No.	メーカー名	事故発生日	品目	型式機種	被害区分 (注)	事故概要	製品の 使用期間	事故原因			備考	事故発生 場所	
								内容	該当するものに○を入力して下さい				
									製品起因	誤使用			原因不明または調査中
34	長州産業(株)	2007/1/29	ふろがま付石油給湯機	KFD-361	④	本体焼損	約20年	点火トランス部分の焼損が激しくその部分からの発火が考えられるがはっきりした原因は不明			○		岐阜県
35	(株)コロナ	2007/1/25	石油ストーブ	SX-24	④	洗面台付近で使用していた石油ストーブから出火し、3階建て住宅を全焼	約3年	大阪NITEでの調査では、本体外からのもらい火ではないかと判断				本体外からのもらい火	大阪府
36	(株)長府製作所	2007/1/25	石油給湯機	KIBF-423DS	④	機器焼損	7年	油漏れはなかった。電磁ポンプ吸い込み口のフィルタにドロ状のものが詰っていたために、油が正常に噴霧されず、バーナ口パッキンやバーナ口に油がしみて気化し、何らかの原因で引火したものと推定。			○		滋賀県
37	三菱電機(株)	2007/1/24	石油ファンヒーター	KD-258V	④	木造一部2階建て176平方メートルを全焼。	約14年	消防・警察情報：出火元不明であるが、製品起因では無いと推定。			○		長崎県
38	(株)ノーリツ	2007/1/23	ふろがま付石油給湯機	OTQ-302SAY	④	器具内部焼損	8年3ヶ月	○リング劣化により油漏れ、引火	○			リコール製品	長野県
39	シャープ(株)	2007/1/22	石油ファンヒーター	OK-A30C	④	器具本体の一部を焼損	17年	石油ファンヒーターから出火して、本体の一部を焼損。消火器により室内を汚損。			○		北海道
40	(株)長府製作所	2007/1/21	ふろがま付石油給湯機	JIB-7SG	④	機器焼損 壁が一部焦げた	16年9ヶ月	燃焼不良等により、風呂側の熱交換器の煤詰まりがひどく、また、穴あきが見られたことが原因と推定			○		東京都
41	サンポット(株)	2007/1/21	FF式石油暖房機	FF-64RF	④	暖房機使用中に「ボン」と音がして火が出て暖房機背面の壁及びブラインドの一部を焼いた。	3年	他社製の給排気筒に設置		○		代理店にて製品引き上げ	北海道
42	(株)長府製作所	2007/1/21	ふろがま付石油給湯機	JIB-7SG	④	機器焼損 壁の一部を焦がす	約17年	基板(給湯用、ふろ用、サーモ基板)3枚とふろ熱交換器だけが返却され、ふろ熱交換器が空焚き状態になっているが原因は不明。現場写真では、オイルトレーに多量の汚れあり、ふろ熱交換器には多量の煤が付着しており灯油のしみこみがある。			○		東京都
43	長州産業(株)	2007/1/18	石油ふろがま	MS-3C	④	家屋半焼	5ヶ月	薪焚き兼用であるが設置時より1度もバーナーは使用していない。壁を煙突が貫通しているが接触して壁から発火した		○			長崎県

注1：事故発生日の月日が不明のケースは「-」と表示

注2：被害区分番号…①死亡事故、②重傷病事故(治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病)又は後遺障害事故、③一酸化炭素中毒事故(医師の診断が下されたもの)、④火災(消防が火災として確認したもの)

No.	メーカー名	事故発生日	品目	型式機種	被害区分 (注)	事故概要	製品の 使用期間	事故原因			備考	事故発生 場所	
								内容	該当するものに○を入力して下さい				
									製品起因	誤使用			原因不明または調査中
44	(株)トヨトミ	2007/1/18	半密閉式石油暖房機	HS-15AT-10(N)	④	鉄筋3階建て学校の教室から出火して、教室内の壁と天井計約5.5㎡を焼き、教師が足に火傷を負った。警察では石油ストーブに給油中、ストーブから煙が出たことから出火原因を調べている	不明	給油時に本体電源を切らずに給油したため着火動作に入り燃焼室上面に置いたポリタンクを溶かし中の灯油に引火したものである		○			鳥取県
45	松下電器産業(株)	2007/1/15	石油給湯機	OW-4MBH1F	④	石油給湯機より発火してボヤになった	不明	排気管接続の施工不良		○	施工不良		北海道
46	(株)ノーリツ	2007/1/15	ふろがま付石油給湯機	OTQ-302SAY	④	器具内部焼損	8年9ヶ月	0リング劣化により油漏れ、引火	○			リコール製品	群馬県
47	(株)ノーリツ	2007/1/14	石油給湯機	OQB-302YS	④	器具内部焼損	8年2ヶ月	0リング劣化により油漏れ、引火	○			リコール製品	千葉県
48	(株)トヨトミ	2007/1/12	石油ストーブ	R-23	—	17時頃点火して、19時40分頃、置台より炎が出た。その間通常燃焼していた。水をかけて消火した。	不明	トヨトミ本社研究部で原因調査した結果、点火してから、およそ2時間半ほど経過してから置台から炎が出たことから、原因は不明。製品各部には異常な部分が認められず、また、異常燃焼した形跡も見られない。製品内部に可燃性の混入物がたくさんあり、ストーブに点火したときに、偶然、混入していた小さな紙切れなどの可燃物に引火してしまい、しばらくの間は置台の上のホコリなどに燃え移ってくすぶっていたものが、しばらくしてから、大き目の紙切れやビニールテープなどの混入物に引火して燃え出したことで、一気に大きな炎が発生してしまったのではないかと推測する。また、紙切れなどの混入物に最初に引火してしまったのは、ストーブに点火したときに、ストーブの芯付近にも何らかの小さめの可燃性混入物があって、ストーブに点火したときの火が、偶然引火した後で落下して、置台の上のホコリなどに燃え移って、しばらくの間くすぶっていたのかも知れない。			○		広島県

注1：事故発生日の月日が不明のケースは「—」と表示

注2：被害区分番号…①死亡事故、②重傷病事故（治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病）又は後遺障害事故、③一酸化炭素中毒事故（医師の診断が下されたもの）、④火災（消防が火災として確認したもの）

No.	メーカー名	事故発生日	品目	型式機種	被害区分 (注)	事故概要	製品の 使用期間	事故原因			備考	事故発生 場所	
								内容	該当するものに○を入力して下さい				
									製品起因	誤使用			原因不明または調査中
49	三洋電機(株)	2007/1/11	石油ストーブ	OHR-S23C	①	火災により1名死亡、および1名火傷	約22年	給油口のキャップが外れていたことから、消防は取扱上の問題である、と断定。		○		京都府	
50	シャープ(株)	2007/1/11	石油ファンヒーター	OK-H30X	④	家屋全焼	10年	石油ファンヒーターから出火して、家屋が全焼し、家人2名が軽い火傷を負った			○	北海道	
51	(株)長府製作所	2007/1/10	石油給湯機	IB-34	④	機器焼損 洗面台照明カバー熱変形 ホイル室、洗面所、浴室、玄関、1階廊下、2階への階段の天井と壁に煤付着	約25年	経年劣化・使用環境の不具合 使用年数が長く(25年)、燃焼室炉材(耐火材)も風化している状態で煙突の設置状況をお客様自身に変更(屋外の立ち上がり無しでトップを下向きエルブにしていた)、長期の使用でノズルの噴霧も悪く、電極の間隔も正規ではなかった。(着火遅れがしめまい状態)		○		石川県	
52	松下電器産業(株)	2007/1/8	石油ストーブ	OS-161	④	本体内部焼損	23年以上	点火装置故障でマッチで点火、マッチが機器内部に落ち焼損と推定		○		京都府	
53	(株)長府製作所	2007/1/7	石油ふろがま	JPK-N	④	壁約1m2を焼損	21年	消防署の調査によると、ふろがまの燃焼筒が外れ、ふろがまの床付近に蓄積していた綿ごみ等に着火し、また送油ゴム管も外れていたことから、流出していた灯油に引火し延焼したもの。			○	青森県	
54	三菱電機(株)	2007/1/6	石油ファンヒーター	KD-231X	④	製品及び畳・床・壁紙の一部焼損。お客様が消火器で消火。	約21年	消防見解：製品の下に敷き込んだ電源コードの芯線がショートし発火。		○		北海道	
55	長州産業(株)	2007/1/1	石油給湯機	AX-402A	④	機器のみ焼損で人的被害及び拡大被害なし	7年	油元弁のシール用Oリングの劣化による油漏れ				リコール製品 群馬県	
56	(株)ノーリツ	2007/1/1	石油給湯機	OQB-302Y	④	器具内部焼損	8年	Oリング劣化により油漏れ、引火	○			リコール製品 熊本県	
57	(株)ノーリツ	2007/1/1	ふろがま付石油給湯機	OTQ-302SAY	④	器具内部焼損	6年	Oリング劣化により油漏れ、引火	○			リコール製品 千葉県	
58	TOTO(株)	2006/12/31	石油給湯機	RPH40KSS	④	器具内一部焼損	約8年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品 富山県	
59	TOTO(株)	2006/12/31	石油給湯機	RPH40KE	④	器具及び器具周辺部を焼損	約8年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品 茨城県	

注1：事故発生日の月日が不明のケースは「-」と表示

注2：被害区分番号…①死亡事故、②重傷病事故(治療に要する期間が30日以上)の負傷・疾病)又は後遺障害事故、③一酸化炭素中毒事故(医師の診断が下されたもの)、④火災(消防が火災として確認したもの)

No.	メーカー名	事故発生日	品目	型式機種	被害区分 (注)	事故概要	製品の 使用期間	事故原因			備考	事故発生 場所		
								内容	該当するものに○を入力して下さい					
									製品起因	誤使用			原因不明または調査中	
60	株コロナ	2006/12/26	石油ファンヒーター	FH-S253DX	④	(機具内部焼損) 煙たく感じながら使用していたファンヒーターの吹き出し口から発煙した。スイッチを切ったが背面辺りから炎が出た。	20年以上	長期使用により、着火時等の灯油ミストが堆積し、これが何らかの着火源により発火したことが考えられるが、原因は不明。送油経路、プリント基板に異常は見られない。			○	原因不明		福島県
61	TOTO(株)	2006/12/25	ふろがま付石油給湯機	RPE32KE	④	器具内一部焼損	約10年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○				リコール製品	静岡県
62	株トヨトミ	2006/12/25	石油ストーブ	RCA-67	④	平成18年12月24日、家人が忘年会に参加して午前5時に帰宅。暖をとるためにRCA-67を点火してそのまま就寝した。午前8時30分頃に目が覚めたときには火事になっていた。	不明	消防署の話では燃焼中のストーブに何らかの物体が落ちて火災に至ったのではないかとのこと		○				神奈川県
63	株コロナ	2006/12/19	石油ストーブ	RX-221	④	木造2階建て店舗兼住宅から出火し、1階店舗部分約44㎡を焼いた。	約3年	ストーブの輻射熱で近くの可燃物に着火・延焼したものと思われる		○				岩手県
64	株コロナ	2006/12/19	石油こんろ	SH-2KB	④	石油コンロから出火し、周辺の床を焼いた。	20年以上	しんのセット寸法が規定では5mmに対して、13mm以上あり、燃焼量が過大になり異常燃焼をおこしたと思われる。		○				福井県
65	ダイニチ工業(株)	2006/12/15	石油ファンヒーター	FA-4020D	④	2階建てから出火し、全焼した。	不明	消防の調査では、被害者の供述通り石油ファンヒーターは消火しており、状況から製品からの出火でないかとみているが、焼損が著しく原因の特定はできなかった。			○			宮城県
66	株トヨトミ	2006/12/14	石油ファンヒーター	LGR-3	①	H18.12.14午後10時30分頃 XXさん宅を訪ねてきた親戚の方が家の中で倒れているXXさん一家他を発見、警察に通報(7人死亡)	不明	警察の調査では、不完全燃焼となりCO中毒になったのではないかと見ているが詳しい原因は現在調査中とのこと			○		リコール製品	北海道
67	株長府製作所	2006/12/11	石油ふろがま	CK-11	④	機器焼損 浴槽の一部、循環パイプ変色	7年	浴槽の排水栓の不具合のため、浴槽内に水が無い状態でタイムスイッチを押して空焚きとなった。		○				福島県
68	TOTO(株)	2006/12/07	石油給湯機	RPH40KF	④	器具内一部焼損	約9年						リコール製品 (メンテミス)	北海道

注1：事故発生日の月日が不明のケースは「-」と表示

注2：被害区分番号…①死亡事故、②重傷病事故(治療に要する期間が30日以上)の負傷・疾病)又は後遺障害事故、③一酸化炭素中毒事故(医師の診断が下されたもの)、④火災(消防が火災として確認したもの)

No.	メーカー名	事故発生日	品目	型式機種	被害区分 (注)	事故概要	製品の 使用期間	事故原因			備考	事故発生 場所	
								内容	該当するものに○を入力して下さい				
									製品起因	誤使用			原因不明または調査中
69	(株)トヨタミ	2006/12/2	石油ストーブ	RCA-104	④	平成18年12月2日午後1時30分頃お寺にて法要があるため10畳の部屋に「RCA-104」を2台点火して部屋を出て行った。2時50分頃、部屋の外を通りがかった人が2台のうち1台が燃え上がっているのを見つけて2人掛かりで庭に出して消火する。本体及び、置が約90cm四方焼損	不明		○			富山県	
70	TOTO(株)	2006/11/28	石油給湯機	RPH31VE	④	器具内一部焼損	約15年	お客様の部品調整ミスによるもの		○			石川県
71	(株)コロナ	2006/11/24	石油ストーブ	SX-E270WY	④	ストーブを消火した後カートリッジタンクに給油し、本体にセットしようとしたところ、タンクから灯油が漏れストーブの残火に引火し燃え広がった	約5年	ストーブが完全に消火しておらず、給油後タンクを抱きかかえストーブ近くまで持っていき、本体にセットしようとしたところ、タンクフタがロックされておらず、ストーブ本体に灯油がかかった		○			愛知県
72	(株)コロナ	2006/11/14	半密閉式石油暖房機	SV-71PR2	②④	2階建て集合住宅の一室で石油ストーブ付近から出火し、ストーブ周辺の壁や床の一部を焼損し、家人が煙を吸って入院した。	不明	NITE北関東で調査中 (メーカーと合同調査予定)			調査中		北海道
73	ダイニチ工業(株)	2006/11/13	石油ファンヒーター	FW-3060S	④	住宅の離れから出荷、木造平屋約60平方メートルを全焼。	不明	給油の際に間違えてガソリンを給油したものとみている(NITE通知事故情報より)		○			徳島県
74	(株)コロナ	2006/11/8	石油給湯機	UIB-310TX3	④	石油給湯機の排気筒が長い間外れており、排気が天井に当たって炭化が進行し、火災に至ったと見られている。	10年以上	排気筒の外れによる天井の炭化による火災と考えられる。		○			新潟県
75	(株)コロナ	2006/11/6	半密閉式石油暖房機	UH-84PR9	④	外出中(30分間)に、住宅から出火し全焼した。警察ではストーブ周辺の焼損が激しいことから、原因を調べていた。	約1年	警察及び消防による調査が行われたが、原因は不明であった。			○ 原因不明		北海道
76	(株)長府製作所	2006/11/2	石油給湯機	IB-333SG	④	機器焼損 建物の壁、屋根、窓ガラス3枚など	10年以上	修理の際にノズルホルダーとノズルパイプを接続するネジが緩んでいた(脱着した痕跡あり)ため油漏れしたことが原因と推定するが、引火原因は不明			○		長野県

注1：事故発生日の月日が不明のケースは「-」と表示

注2：被害区分番号…①死亡事故、②重傷病事故(治療に要する期間が30日以上)の負傷・疾病)又は後遺障害事故、③一酸化炭素中毒事故(医師の診断が下されたもの)、④火災(消防が火災として確認したもの)

No.	メーカー名	事故発生日	品目	型式機種	被害区分 (注)	事故概要	製品の 使用期間	事故原因			備考	事故発生 場所	
								内容	該当するものに○を入力して下さい				
									製品起因	誤使用			原因不明または調査中
77	(株)コロナ	2006/10/28	石油ふろがま	BS-2000GBA	④	木造平屋建て住宅から出火し、浴室の壁など約2平方メートルを焼いた。	不明	消防での調査によると、風呂釜の手入れがされなかったため、中にカーボンが多量に付着し、風呂釜が異常燃焼し、焼損に至ったものと見ている。		○			岩手県
78	TOTO(株)	2006/10/24	ふろがま付石油給湯機	BS320AZR-D	④	器具内一部焼損	約7年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	長崎県
79	TOTO(株)	2006/10/13	石油給湯機	RPH32KSS	④	器具内一部焼損	約10年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	福岡県
80	TOTO(株)	2005/8/28	ふろがま付石油給湯機	RPE40KA	④	器具内一部焼損	約8年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	富山県
81	TOTO(株)	2005/2/15	ふろがま付石油給湯機	RPE32KSS	④	器具内一部焼損	約8年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	石川県
82	TOTO(株)	2002/09/27	石油給湯機	RPH40KSS	④	器具内一部焼損	4年5ヶ月	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	奈良県
83	(株)ノーリツ	2000/4/17	石油小形給湯器	OQB-302Y	④	器具内部焼損	9年7ヶ月	リング劣化により油漏れ、引火	○			リコール製品	茨城県
84	(株)コロナ	-/-/-	石油ファンヒーター	FH-S253DX	④	ストーブの異常燃焼により、畳を焦がした。	20年以上	宇都宮市中央消防署にて調査中(コトより資料提供した)			○		栃木県

注1：事故発生日の月日が不明のケースは「-」と表示

注2：被害区分番号…①死亡事故、②重傷病事故（治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病）又は後遺障害事故、③一酸化炭素中毒事故（医師の診断が下されたもの）、④火災（消防が火災として確認したもの） 10